

## Ⅱ：分担研究報告

### 研究 5

米国における嗜好用大麻の合法化が  
在米日本人の意識・行動に与える影響に関する研究

分担研究報告書

米国における嗜好用大麻の合法化が邦人留学生の意識・行動に与える  
影響に関する研究 (2023 年)

分担研究者：根本 透 (Public Health Institute, U.S.)

研究協力者：岩本 まりこ (Public Health Institute, U.S.)

Min Zheng (Public Health Institute, U.S.)

【研究要旨】本研究の目的は、オンラインアンケート形式での量的研究（対象者 117 名）を通じて米国における嗜好用大麻が邦人米国滞在者に与える影響を検証することであり、米国多州における大麻合法化により、邦人滞在者の薬物使用の現状と大麻使用に対する意識が把握できた。

【目的】米国における嗜好用大麻が邦人米国滞在者に与える影響やその他の薬物使用の最新動向を検証することである。

【方法】オンラインで参加者を募集しスクリーニングを行った後（対象者は 18 歳以上で米国に一時滞在している日本国籍保持者 117 名）、参加者に日本語で大麻使用に関する法律への態度や薬物使用状況についての自己記入式オンラインアンケートに回答してもらった。

【結果】米国における大麻合法化により、邦人米国滞在者は日常的に大麻が蔓延している環境におかれていることが把握できた。約半数（65 名）が大麻を使用した経験があり、そのうち米国での使用が 94%、日本での使用が 29%であった。さらに大麻使用者の中では、31%が LSD、30%がコカイン、26%がエクスタシーを使用したと答えた。半数以上の参加者が嗜好用大麻合法化は青少年の薬物使用を助長すると答えたが、これは大麻使用者に顕著であった。59%の大麻使用者はヘロインやコケインなどのハードドラッグは規制されるべきだが嗜好用大麻は合法化されるべきだと答えたのに対し、非使用者では 23%であった ( $p<.01$ )。半数の参加者（50%）が「日本の大麻禁止法は厳しすぎる」と考えており、特に大麻使用者の間でその傾向が強かった ( $p<.01$ )。

【考察】邦人米国滞在者を対象にした量的調査結果をもとに今後大麻使用及び乱用予防のためプログラムを考察することが必要であると考えられる。

A. 研究目的

カリフォルニア及び他 30 州での、嗜好品大麻の合法化は邦人留学生や長期滞在者の大麻及び薬物使用に何らかの影響を与えることが危惧される。しかし、米国での嗜好品大麻の合法化が邦人滞在者に与える影響を調べた研究はこれまでにない。本研究は嗜好用大麻が邦人滞在者に与える影響を検証する初めてのもの

であり、社会安全上・薬物乱用対策上の意義が高いと言える。得られた知見を元に、今後米国に留学する学生や長期滞在者に向けた薬物乱用防止教育プログラムや、帰国後の大麻使用に関するアセスメントや、予防及び治療プログラムとの連携に関する提言を行う。

B. 研究方法

## 1. 対象者およびサンプリング

対象は、米国に住む長期滞在者である。選択基準は、1) 米国に90日以上滞在している邦人、2) 18歳以上の者とした。オンライン掲示板、配布、口コミ、ブロガー等を通じて被験者を募り、募集ポスターに記載したオンラインのスクリーニングアンケートを通じて対象者を選択した。事前にトレーニングを受けた調査員が対象者個別にEメールで無記名自記式のオンラインアンケートのリンクを送り、30分程の量的オンラインアンケートを実施した。調査期間は2023年10月～2024年6月であった。

調査項目は、基本属性、日本と米国でのアルコール・大麻を含む薬物使用、DAST-20（薬物依存の重症度を評価するスクリーニング）、大麻使用に関する意識・行動や、米国での嗜好用大麻の合法化に関する考え等である。個人を特定する情報は収集していない。質的研究のデータに基づき、Alchemer（オンライン調査プラットフォーム）を用いて、量的調査の質問項目を日本語で作成した。

本研究では、以下の4つの尺度を使用した。

1) 嗜好用大麻使用の合法化に対する肯定的態度尺度（Positive Attitude toward Legalization of Marijuana Use: PALMU）（ $\alpha=0.78$ ）、2) 日本における大麻使用禁止法に対する否定的態度尺度（Negative Attitude toward laws against Marijuana use: NAMU）（ $\alpha=0.74$ ）、3) 大麻・薬物使用に対する肯定的規範尺度（Positive Norms toward Marijuana use: PNMU）（ $\alpha=0.86$ ）、4) 薬物乱用スクリーニングテスト-30（DAST-20）（大麻使用者のみ対象）（ $\alpha=0.89$ ）

## 2. 倫理面への配慮

調査員は、候補者が選択基準を満たしていることを再度確認した上で、問題がなければ、候補者にインフォメーションシート（書面同意）を事前に渡した。質問等がある場合は、メールで問い合わせを促し、参加同意を確認したうえで正式に対象者として研究に参加してもらうという手順をとった。調査実施にあたり、Public Health Institute, Institutional Review Board (IRB) の承認を2023年1月24日に得た（承

認番号 I22-015）。

当初、質的調査をするにあたり、大麻を使用する邦人米国滞在者を対象とし、米国滞在中また帰国後の大麻を含む薬物使用の調査を目的としていたが、特定人種の違法薬物使用を調査するにあたり研究対象者に対する人権擁護上の懸念から、IRBの指示にて調査項目さらに研究方法を再度に渡り変更し、研究対象者に対する不利益や危険性の排除に努めた。結果とし質的調査開始に約6か月以上の遅れが生じた故、その後実施すべき量的調査開始にも遅れが生じる事となった。

## C. 研究結果

対象者 117 人からオンラインアンケートの回答を回収した。参加者は平均年齢 40 歳、女性 63%、男性 36%、ジェンダーノンバイナリー1%、大学卒以上 61%、米国滞在年数平均 12 年、就労ビザ 16%、学生ビザ 30%、グリーンカード 36%（表 1 参照）。半数（50%）がカリフォルニア在住、次に 13.7% ジョージア州、7.7% ワシントン州であった。93.6%の対象者が医療用大麻の使用が合法的な州に居住、82.5% が嗜好用大麻の使用が合法的な州に居住していた。

属性、例えば年齢、性別、婚姻状況、ビザの種類、医療用大麻が合法化されている州での居住状況において、大麻使用者と非使用者間に有意な差は見られなかった。しかし、大麻使用者は非使用者と比較して、有職者または自営業者である割合が高いこと（ $\chi^2=18.36$ ,  $p<.01$ ）、および娯楽用大麻が合法化されている州に居住している割合が高いこと（ $\chi^2=19.00$ ,  $p<.01$ ）が明らかとなった。更に、米国在期間においても有意な差が認められた。大麻使用者の平均滞在期間は非使用者と比較して有意に長い（14.4 年 vs. 9.6 年）結果が得られた、 $t(113)=2.29$ ,  $p<.05$ 。

**飲酒：**全対象者のうち、生涯飲酒経験者の過去 6 か月の平均飲酒頻度はリッカート尺度（5 段階評価）で 2.47（ $n=105$ ,  $SD=1.19$ ）であった（「2」は月に 2～3 回、「3」は週に 1 回程度の頻度に相当）（表に含まない）。また、飲酒経験者の

37.8% が生涯に少なくとも 1 回の一気飲み（ビンジ・ドリンキング）を経験していた（表 2 参照）。

**喫煙：**対象者の 42.7%（50 人）が生涯喫煙者であり（表 2 参照）、過去 1 年の使用者数は 17 人（34.0%）、そのうち 9 人（52.9%）は、ほぼ毎日喫煙していた（表に含まない）。

#### 大麻使用者の薬物使用歴：

**大麻：**生涯大麻使用者は 65 人であり、そのうち 19 人（29.2%）が日本でも使用経験があり、61 人（93.8%）が米国で、4 人（6.2%）がタイで大麻を使用していた（表 3 と表 4 参照）。生涯大麻使用者のうち 35 人（53.8%）が米国での過去 6 ヶ月大麻使用者であり（表 5 参照）、過去 6 ヶ月の大麻使用頻度はリッカート尺度（5 段階評価）で平均 2.62（SD=1.50；1 週間に一度弱）であった（表に含まない）。

**その他の薬物：**大麻使用者のうちコカイン生涯経験者数は 18 人（29.5%）で、そのうち 6 人（33.3%）が日本で、17 人（94.4%）が米国で使用経験ありと回答した。同様に大麻使用者のうちメタンフェタミン生涯経験者数は 4 人（6.5%）であり、そのうち 3 人（75%）が日本で、4 人（100%）が米国で使用経験ありと回答。LSD 生涯経験者数は 19 人（30.6%）。そのうち 3 人（15.8%）が日本で、18 人（94.7%）が米国で使用経験ありと回答した。ヘロイン生涯経験者数は 4 人（6.3%）。そのうち 1 人（25.0%）が日本で、3 人（75.0%）が米国で使用したと回答した。エクスタシー生涯経験者数は 16 人（26.2%）。そのうち 3 人（18.8%）が日本で、15 人（93.8%）が米国で使用したと回答した。

最初に使用した薬物は大麻であると回答した者は 58 人（89.2%）であった。3 人（4.6%）はボンド/シンナーが最初に使用した薬物であったと報告した（表に含まない）。初めての薬物使用国は、米国が 45 人（70.3%）、日本が 16 人（25%）であった。

薬物に費やす月額費用は、27.7%が「50 ドル未満」、15.4%が「100 ドル以上」と回答した（表 3 参照）。更に、大麻経験者の 67.7%が、薬物の

影響下で性的な行為を行った経験があると回答した。

全対象者のうち 3 人が（2.6%）がアルコール依存症の治療プログラムに参加した経験があり、そのうち 2 人（1.7%）は日本で、3 人（2.6%）は米国で治療を受けていたと回答した。薬物依存治療プログラムに参加経験があると回答した対象者はいなかった（表に含まない）。

**大麻使用の動機：**生涯大麻使用者の 78.5%が、過去に米国で薬物の使用を勧められた経験があり、その中でも最も多かったのは大麻（73.8%）で、場所は、パーティー（46.1%）やクラブ・バー（27.7%）であった。友人からの薬物使用の誘いを常に断ると回答したのは 24.6%のみであった（表 3 参照）。

**薬物使用の理由：**最も多かったのは「普段と違った感覚が楽しめる為」（43.1%）、次いで「友人の影響」（36.9%）、「ストレス解消」（23.1%）であった（表 3 参照）。過去 6 か月の米国での大麻使用頻度については、18.5%が「月に 1 回未満」、7.7%が「ほぼ毎日」と回答した（表 5 参照）。

**大麻使用状況：**15.4%が「主に一人で使用」、10.8%が「日本人以外の友人と使用」、7.7%が「日本人の友人と使用」と回答し、大麻の主な入手方法は「ディスペンサリー（合法販売店）」（49.2%）、次いで「自分で購入」（27.7%）、「友人」（26.1%）であった（表 3 参照）。

#### 大麻使用に関する意識・行動や、米国での嗜好用大麻の合法化に関する考え：

大麻使用者（30.8%）より、大麻非使用者（48.1%）の方が「医療用大麻の合法化には賛成するが、嗜好用大麻の合法化には反対する」と回答し、その割合に有意な差が認められた（ $\chi^2=13.79$ ,  $p<0.01$ ）（表 6 参照）。さらに、大麻使用者の 58.4%が「ハードドラッグは違法のままにすべきだが、嗜好用大麻の使用は合法化すべきである」と考えていたが、大麻非使用者ではこの考えに同意する割合が 28.9%と低く、有意な差がみられた（ $\chi^2=18.71$ ,  $p<0.01$ ）。また、「日本の大麻規制はアメリカやカナダと比較して厳しすぎる」と考える割合は、大麻使用者（64.6%）の方が大麻非使用者（38.4%）よりも有意に高かった（ $p<0.01$ ）。

さらに、日本における医療用大麻の合法化を支持する割合は、大麻使用者（80%）が大麻非使用者（67.3%）よりも有意に高かった（ $p<0.01$ ）。

4 つの心理社会的尺度には強い相関がみられた（表 7 参照）。「嗜好用大麻合法化に対する肯定的態度尺度（PALMU）」は、「日本における大麻規制に対する否定的態度尺度（NAMU）」（ $r=0.56$ ,  $p<0.01$ ）および「大麻・薬物使用に対する肯定的規範尺度（PNMU）」（ $r=0.47$ ,  $p<0.01$ ）と有意に相関していた。さらに、「日本における大麻規制に対する否定的態度尺度（NAMU）」と「大麻・薬物使用に対する肯定的規範尺度（PNMU）」も有意な相関を示した（ $r=0.40$ ,  $p<0.01$ ）。一方で、「薬物乱用スクリーニングテスト-20（DAST）」は「大麻・薬物使用に対する肯定的規範尺度（PNMU）」（ $r=0.33$ ,  $p<0.05$ ）との間に強い相関を示した。

#### D. 考察

本質的研究の結果を一般化する際には、サンプリング方法や サンプルサイズの影響を考慮する必要がある。更に、本研究結果は、対象者がオンライン調査で遡及的に回答したデータに基づいており、バイアスや記憶の欠落、自己開示の動機等の影響を受けている可能性がある事も考慮すべきである。

日本国内の厳しい大麻禁止法は、海外に在住または旅行する日本人の大麻使用を規制する効果はなく、また海外での行動を規制する法的権限も持たない。日本の政策立案者や研究者は、医療用大麻の合法化に向けた検討や、大麻及び薬物の乱用を防ぐための教育プログラムの導入を考える時期に来ているのかもしれない。

#### E. 結論

大麻使用者の約半数が定期的（週 1 回程度）に大麻を使用しており、コカイン、LSD、エクスタシー等の他の薬物を使用した経験がある対象者もいた。さらに、厳しい大麻規制があるにも関わらず、大麻使用者の約 1/4 は日本でも大麻使用経験があった。大麻非使用者と比較す

ると、大麻使用者は娯楽目的および医療目的の両方のマリファナ合法化を支持する傾向がり、米国における嗜好大麻合法化が長期日本人滞在者の薬物使用に影響を与えているのが把握できた。多くの対象者は、嗜好用大麻の合法化が大麻使用を助長する可能性があるが、医療用大麻は合法化すべきであり、日本の大麻禁止法は厳しすぎると考えていた。近年かなりの数の日本人が米国、カナダ、タイなどの国を訪れ、大麻を試したり、大麻を使用する目的で海外に渡航したりしている事も考えられ、今後これらの日本人を対象にした薬物予防、治療のプログラムの設立が望まれる。

#### F. 参考文献

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表（原著・総説・書籍）

なし

##### 2. 学会発表

- 1) Nemoto, T., Iwamoto, M., Kamitani, E., Zheng, M., & Shimane, T. (2024, September). Marijuana and Other Substance Use Behaviors among Japanese Nationals Temporarily Staying in the U.S. Oral presentation at the Japanese Alcohol, Nicotine & Addiction Conference.

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む）

##### 1. 特許取得

なし

##### 2. 実用新案登録

なし

##### 3. その他



**Table 1 : Demographics (Marijuana Users vs Non-Users) (n=117)**

	Marijuana User	Non-Marijuana User	t/ $\chi^2$	p Value
Avg. Age	(n=65)	(n=52)	-0.074	0.942
	39.4 yrs	39.5 yrs		
<b>Years living in the US</b>	(n=63)	(n=50)	<b>2.292</b>	<b>0.024*</b>
	14.4 yrs	9.6 yrs		
<b>Gender</b>	(n=63)	(n=51)	2.72	0.257
Male	26 (41.3%)	15 (29.4%)		
Female	36 (57.1%)	36 (70.6%)		
Trans/Non-Binary	1 (1.6%)	0 (0%)		
<b>Marital Status</b>	(n=64)	(n=52)	2.282	0.319
Single	14 (21.9%)	17 (32.7%)		
Married/Partner	38 (59.4%)	29 (55.8%)		
Other	12 (18.8%)	6 (11.5%)		
<b>Sexual Orientation</b>	(n=59)	(n=50)	1.268	0.737
Heterosexual	55 (93.2%)	46 (92%)		
Homosexual	1 (1.7%)	1 (2.0%)		
Lesbian	0 (0%)	1 (2.0%)		
Bisexual	3 (5.1%)	2 (4.0%)		
<b>Education</b>	(n=65)	(n=52)	5.024	0.081
College degree or above	35 (53.8%)	36 (69.2%)		
Graduated technical college/ two-year college/currently in college	20 (30.8%)	14 (26.9%)		
Other (e.g., graduated high school, Junior high or less than Junior high)	10 (15.4%)	2 (3.8%)		
<b>Occupation</b>	(n=63)	(n=50)	<b>18.358</b>	<b>0.01*</b>
Student	5 (7.9%)	12 (24%)		
Employed	32 (51%)	13 (26%)		
Self-Employed	12 (19%)	6 (12%)		
Freelance	5 (7.9%)	5 (10%)		
Others (e.g., Unemployed)	9 (14.3%)	14 (28%)		
<b>Visa Status</b>	(n=60)	(n=50)	4.270	0.371
Tourist Visa	1 (1.7%)	1 (2%)		
Student Visa	20 (33.3%)	13 (26%)		
Working Visa	9 (15%)	8 (16%)		
Permanent Resident	24 (40%)	16 (32%)		
Others	6 (10%)	12 (24%)		

<b>Living in state with legal medical marijuana use</b>	(n=56)	(n=38)	0.244	0.621
	35 (92.1%)	53 (94.6%)		
<b>Living in states with legal recreational marijuana use</b>	(n=59)	(n=44)	<b>19.002</b>	<b>0.000**</b>
	57 (96.6%)	28 (63.6%)		

\* $p < .05$ , \*\* $p < .01$

**Table 2 : Alcohol and Cigarettes Use Behaviors**

	n (%)
<b>Ever drunk alcohol (n=117)</b>	58 (49.6%)
<b>Ever had binge drinking (n=98)</b>	
No bingo drink	61(62.2)
One binge drink a month	22(22.4)
More than one binge drink in a moth	4(4.1)
More than one binge drink a month	7(7.1)
Almost everyday	4(4.1)
<b>Frequency of binge drinking (n=42)</b>	
About less than a month	14(33.3)
2 to 3 times a month	8(19.0)
once a week	7(16.7)
3 to 4 times a week	6(14.3)
Almost every day	7(16.7)
<b>Ever smoked cigarettes (n=117)</b>	50(42.7)

**Table 3 : Substance Use Behavior among Marijuana Users (n=65)**

	n (%)
<b>Ever used drugs</b>	
Cocaine (n=61)	18 (29.5%)
Methamphetamines (n=62)	4 (6.5%)
LSD (n=62)	19 (30.6%)
Heroin (n=63)	4 (6.3%)
Ecstasy (n=61)	16 (26.2%)
<b>Ever asked to use drugs in the U.S.</b>	51 (78.5%)
<b>Type of drug being asked to use in the U.S. :</b>	
Marijuana	48 (73.8%)
LSD/Mushroom	22 (33.8%)
Cocaine	21 (32.3%)
Ecstasy	11 (16.9%)
<b>Location/occasions being asked to use drugs in the U.S.</b>	

Party	30 (46.1%)
Clubs/Bars	18 (27.7%)
On the street	9 (13.8%)
<b>Always refused to use drugs when friends asked in the U.S.</b>	16 (24.6%)
<b>Reason for drug use</b>	
Enjoy different sensitivity	28 (43.1%)
Their friends used and asked me to use	24 (36.9%)
Make them good spirit and release stress	15 (23.1%)
Increase imagination	13 (20.0%)
Forget bad or unwanted things	13 (20.0%)
<b>People used marijuana with</b>	
Mostly by myself	10 (15.4%)
With non-Japanese friends	7 (10.8%)
With Japanese friends	5 (7.7%)
With both Japanese and non-Japanese	5 (7.7%)
<b>The ways obtained marijuana</b>	
Through dispensaries	32 (49.2%)
Purchasing by themselves	18 (27.7%)
Ask friends to get marijuana	17 (26.1%)
<b>Amount spent for drugs per month</b>	
Less than \$50	18 (27.7%)
\$50 to \$100	11 (16.9%)
More than \$100	10 (15.4%)
<b>Ever have had sex under the influence of drugs</b>	<b>44 (67.7%)</b>

**Table 4 : Substance Use Behaviors in Different Countries among Marijuana Users (n=65)**

Items	Japan	USA	Thailand	Other Countries
<b>Country where first used drugs (n=64)</b>	16 (25%)	45 (70.3%)	0%	3 (4.7%)
<b>Country where ever purchased drugs (n=65)</b>	9 (13.8%)	39 (60.9%)	3 (4.6%)	6 (9.2%)
<b>Types of drugs used (lifetime)</b>				
Marijuana (n=65)	19 (29.2%)	61 (93.8%)	4 (6.2%)	14 (21.5%)
Cocaine (n=18)	6 (33.3%)	17 (94.4%)	1 (5.6%)	2 (11.1%)
Methamphetamines (n=4)	3 (75.0%)	4 (100%)	1 (25%)	1 (25%)
LSD/Mushroom (n=19)	3 (15.8%)	18 (94.7%)	1 (5.3%)	2 (10.5%)
Heroin (n=4)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0%	0%
Ecstasy (n=16)	3 (18.8%)	15 (93.8%)	2 (12.5%)	1 (6.3%)



**Table 5: Marijuana Use among Marijuana Users in the Past 6 Months (n=65)**

Items	n (%)
<b>Used Marijuana (Past 6 months)</b>	35 (53.8%)
<b>Frequency of marijuana use in the U.S.</b>	
Less than once a month	12 (18.5%)
2 to 3 times a month	7 (10.8%)
About once a week	5 (7.7%)
3 to 4 times a week	6 (9.2%)
Almost everyday	5 (7.7%)

**Table6: Attitudes and Opinions toward Legalization of Medical and Recreational Marijuana Use (n=117)**

Items	Agree/Strongly agree		t/ $\chi^2$	P value
	Marijuana Users (n= 65)	Non-Users (n= 52)		
Legalization of recreational marijuana use facilitates marijuana and other drug use.	28 (43.1%)	27 (51.9%)	6.750	0.15
Agree with legalization of medical marijuana use but not recreational marijuana use.	<b>20 (30.8%)</b>	<b>25 (48.1%)</b>	<b>13.788</b>	<b>0.008**</b>
Legalization of recreational marijuana use in the U.S. facilitate drug use among adolescents.	38 (58.4%)	34 (65.4%)	7.741	0.102
Hard drugs (e.g., heroin and cocaine) should be controlled by law but recreational marijuana use should be legalized.	<b>38 (58.4%)</b>	<b>15 (28.9%)</b>	<b>18.710</b>	<b>&lt;0.001**</b>
Many Japanese visiting or staying in state where recreational marijuana use is legalized to have more opportunities to use marijuana.	46 (70.8%)	34 (65.4%)	2.832	0.59
Japanese laws are too strict toward marijuana use compared to the U.S. and Canada.	<b>42 (64.6%)</b>	<b>20 (38.4%)</b>	<b>15.037</b>	<b>0.005**</b>
First of all, Japan should legalize medical marijuana use.	<b>52 (80.0%)</b>	<b>35 (67.3%)</b>	<b>13.410</b>	<b>0.009**</b>

\*p<.05, \*\*p<.01

**Table7: Correlations between Psychosocial Sales**

	PALMU (n=117)	NAMU (n=117)	PNMU (n=117)	DAST (n=65)
PALMU	1	0.559**	0.470**	0.055
NAMU		1	0.400**	-.180
PNMU			1	0.326*
DAST				1

\*p<0.05, \*\* p < 0.01